

一西だより



豊川市立一宮西部小学校通信

令和7年5月14日 第5号

発行;校長 村上謙一

【一西小の危機管理】

●緊急下校訓練 5月8日(木)、台風の接近等による緊急下校に備えた訓練を全校で行いました。学校に待機して保護者のお迎えを待つグループと、通学班で急いで帰るグループに分かれて移動をします。550人を超える子供たちがスムーズに動けるようにするにはこういった訓練が欠かせません。



●不審者侵入対策 5月8日(木)、東京都の小学校で不審者(保護者とその友人2名)が侵入し、教職員複数がけがをするという報道がありました。児童にけがはないとのことですが、今後心のサポートが必要になると思われます。学校を開き、保護者・地域の力も使って「チーム一西小」で教育活動を行うことに努めている本校としては残念でなりません。本校の不審者侵入防止対策としては以下の方法をとっています。

①正門と北門の2つの出入り口がありますが、児童の登校後は門扉を閉じています。不審者が心理的に入りにくくなる効果をねらったものです。ただし、授業時間中に登下校する児童やお迎えの保護者、学校に出入りされる業者があるのが日常で、閉じた門扉を施錠することはできませんし、そのような構造にもなっていません。

②各教室には非常ボタンが設置されており、緊急時には校外にも響き渡るサイレンを鳴らすことができます。

③全教室、廊下の各階に「刺股(さすまた)」を置いています。また、職員室には「ネットランチャー」も配置しています。刺股、ネットランチャーはともに不審者の行動の自由を抑え込む防犯器具です。

④毎年1回、全教職員で不審者侵入を想定した訓練を行い、警察の指導を受けています。児童の心への影響を考え、児童参加の訓練は行っていません。

⑤教職員以外で学校の教育活動にご助力いただいている方(サポーター)は、名簿登録を行い、赤ひもの名札をつけて活動していただいています。



このような対策をして児童の安心・安全の確保に努めています。保護者・地域の皆様におかれましては学校にお越しの際は、職員室か校長室にお立ち寄りいただけるようお願いいたします。

【行事で何を学ぶ?】

5月31日(土)は運動会です。低学年は8:40～、中学年は9:35～、高学年は10:30～のブロック別開催となりますが、ぜひ大勢の皆様にご参観、応援いただけますようお願いいたします。

5/31(土)が雨天の場合は6/1(日)に順延、その次の順延は6/3(火)となります。なお、5/31(土)が雨天の場合は「休み」、順延日の6/1(日)も雨の場合は「午前中半日の授業」です。6/2(月)の「振替休業」は固定ですのでご注意ください。

さて、去年はマラソン大会の開催の可否を子供に委ねました。子供は「開催」を選択しましたので、子供たちが「誰もが参加できる競技形式」を考えて開催しました。「やらされる行事」を「自分たちでつくる行事」に変身させることがねらいです。このように子供たちが当事者となり、主体的に活動する取組を広げているところです。

今年の運動会は、先生方にその目的を改めて考えてもらいました。見せるための行事では教育活動とは言えません。今年の運動会は練習の3週間を含めて、次の3つの力を育てるのが目的です。

- ① 仲間の苦手に寄り添いながら、仲間と共に頑張ることができる『他人を大切にできる力』を育む。
- ② どんな姿で運動会に臨みたいのか目標を考え、その目標に向かって『チャレンジする力』を育む。
- ③ 仲間と共に表現運動を作り上げる中で、『自分の考えを表現する力』を育む。

かけっこで一番になる、表現運動で元気よく上手に踊る。これらも価値のあることですが、目的さえはっきりしていれば、練習で困っている仲間をばげませたり、最下位だったけど全力でゴールできたり、動きを工夫したダンスができたりしていれば、目的は達成です。一人ひとりが自分の取組を振り返らないと、何ができたのかを自覚することはできません。運動会の後、子供たちは教室で自分の取組を振り返ります。お子様がお家に帰ってきたら、どんな成長があったか、お子様に聞いてみてください。お子様が自分の取組を客観的に見つめる(メタ認知する)ための大切な時間になるはずで、運動が苦手な子も得意な子も、けが等で参加できなかった子も、運動会で一人ひとりが輝くとはこういうことなのだろうと、私は考えています。